

令和8年度 入学試験問題

医学部（Ⅱ期）

英語（必須）

数学・国語（選択）

注意事項

1. 試験時間 令和8年3月7日、午前9時30分から11時50分まで

2. 配付した試験問題(冊子)、解答用紙の種類は次のとおりです。

(1) 試験問題(冊子、左折り)(表紙・下書き用紙付)

英語

数学(その1)、(その2)

国語(その1)、(その2)

(2) 解答用紙

英語 1枚(上端黄色)(右肩落し)

数学(その1) 1枚(上端茶色)(右肩落し)

〃 (その2) 1枚(上端茶色)(左肩落し)

国語(その1) 1枚(上端紫色)(右肩落し)

〃 (その2) 1枚(上端紫色)(左肩落し)

数学、国語は選択した1教科(受験票に表示されている)が配布されています。

3. 下書きが下書き用紙で足りなかったときは、試験問題(冊子)の余白を使用して下さい。

4. 試験開始2時間以降は退場を許可します。但し、試験終了10分前からの退場は許可しません。

5. 受験中にやむなく途中退室(手洗い等)を望むものは挙手し、監督者の指示に従って下さい。

6. 休憩のための途中退室は認めません。

7. 退場の際は、この試験問題(冊子)を一番上にのせ、挙手し、監督者の許可を得てから、受験票、試験問題(冊子)、下書き用紙および所持品を携行の上、退場して下さい。

8. 試験終了のチャイムが鳴ったら、直ちに筆記をやめ、おもてのまま上から解答用紙[英語、数学(その1)、数学(その2)、または、国語(その1)、国語(その2)、計3枚]、試験問題(冊子)の順にそろえて確認して下さい。

確認が終っても、指示があるまでは席を立たないで下さい。

9. 試験問題(冊子)と下書き用紙は持ち帰って下さい。

10. 監督者退場後、試験場で昼食をとることは差支えありません。ゴミ入れは場外にあります。

11. 午後の集合は1時です。

科目	大問	出典情報
英語	大問 2	National Institute of Health ・ Department of Health and Human Services, NIH News in Health, "Buffering Childhood Stress -- Safe, Secure Relationships for Better Health." , 2024 https://newsinhealth.nih.gov/2024/07/buffering-childhood-stress NIH News in Health
国語	大問 1	村上陽一郎、近代科学を超えて、講談社、2020、pp.108-116

英 語

1 次の各組の単語には、第一アクセントのある位置が異なる単語が一つあります。その記号を答えなさい。

- | | | | |
|------------------|---------------|--------------|---------------|
| 1. A. penetrate | B. compensate | C. multiply | D. contradict |
| 2. A. sequence | B. disgust | C. spectrum | D. worship |
| 3. A. obscure | B. pregnant | C. decent | D. jealous |
| 4. A. expire | B. foresee | C. rescue | D. proclaim |
| 5. A. subjective | B. terrific | C. intrinsic | D. juvenile |

- 2** 下記の英文を読み、空欄(1)～(8)に入れるのに最も適切な語を次の選択肢から選んで、文脈に応じて必要があれば適切な形に変えたうえで、解答欄に書きなさい。各語は一回だけ使用できます。

選択肢： adapt develop face go grow last manage put

- [1] All kids feel stressed from time to time. They may worry about friends, homework, or a big test. Stress is normal. But some kids (1) through extremely stressful or traumatic situations. These can lead to physical and mental health conditions later in life. Scientists are studying the long-term consequences of early life difficulties. And they're looking for ways to protect kids from the health effects.
- [2] “Normal stressors, or stressful experiences, that we all experience on a regular basis tend to be things that one can reasonably (2). Or, in the case of a child, with the help of a supportive caregiver,” says Dr. Nim Tottenham, a professor of psychology at Columbia University.
- [3] “Normal stress is essential in life for growth and learning,” explains Dr. Jing Yu, an NIH expert on child development. “Positively (3) to normal stress can promote a child's performance and skill development.”
- [4] But stress can become toxic if it (4) for extended periods or results from traumatic experiences. For children, examples include physical, sexual, or emotional abuse. Or, it can be (5) up in a family with a lot of conflict between people. Living with people who have severe mental health or substance use disorders can also be a cause. So can neighborhood violence, discrimination, and significant poverty. These circumstances can (6) kids at risk for mental health disorders. They can also lead to academic or social difficulties.
- [5] “Children are still (7) the skills to respond to stress,” Yu says. “When children experience heightened or chronic stress, it can affect their ability to respond. That can have a long-term negative impact on their future health.”
- [6] Not all kids who (8) early life difficulties have health issues later on. Positive life experiences and relationships can also shape youth outcomes. Safe, stable, and trusting relationships can help guard against stressful circumstances.

[Adapted from NIH News in Health: “Buffering Childhood Stress — Safe, Secure Relationships for Better Health.” July 2024. <https://newsinhealth.nih.gov/2024/07/buffering-childhood-stress>]

3 次の各文の()の中に入れるのに最も適切な表現を一つずつ選び、記号で答えなさい。

1. Prior to () the students, the teacher instructed them to send him an email as soon as they got home.
A. having dismissed B. dismissing C. dismissal D. dismiss
2. While I was walking through an unfamiliar town during my trip, I () by surprise when a stranger suddenly spoke to me in Japanese.
A. took B. had been taken C. was taken D. have had taken
3. Preschool children are not allowed to ride this attraction () accompanied by a guardian.
A. although B. unless C. because D. in spite of
4. I'm glad to hear that you are enjoying the conference. It's a good opportunity to make friends with people you might not () meet.
A. besides B. thus C. otherwise D. instead
5. No matter how hard we tried to persuade him, he () agree with our idea.
A. shouldn't B. wouldn't C. might not D. must not
6. Research suggests that taking this medicine within two days of developing symptoms () reduce the risk of death from a serious case of the flu.
A. can B. had better C. ought D. supposed to
7. () the regulations, attendance at every staff meeting is mandatory for all faculty members.
A. Under B. Over C. To D. In
8. () your invaluable guidance and support, I couldn't have finished the program.
A. Were it not for B. If it hadn't been for
C. If it is not for D. Had not been for
9. He fainted after witnessing the scene but came () after a short while.
A. along B. about C. around D. across

10. Overlooking such a simple mistake shows () inattentive I was.
A. why B. if C. how D. whether
11. () is often the case in summer, some flights were delayed due to the typhoon.
A. Which B. That C. This D. As
12. () his talent as his passion that led to his success as a soccer player.
A. It were not as much B. It was not so much
C. It was not much D. It was not as much as
13. () was only recently that the functions of the human brain came to be understood.
A. What B. Which C. That D. It

4

著作権処理許諾が得られなかったため未収録

5

著作権処理許諾が得られなかったため未収録

数 学 (その 1)

1 k, n は正の整数として, 二項係数 ${}_nC_k = \frac{n!}{k!(n-k)!}$ を考える。 $(1+x)^n$ の二項展開を利用し以下の (a) から (d) を n の式で表せ。ただし, 結果は可能な限り共通因数でまとめること。

$$(1) \sum_{k=0}^n {}nC_k = \boxed{\text{(a)}}$$

$$(2) \sum_{k=0}^n {}nC_k k = \boxed{\text{(b)}} \times \frac{\boxed{\text{(a)}}}{2}$$

$$(3) \sum_{k=0}^n {}nC_k k^2 = \boxed{\text{(c)}} \times \frac{\boxed{\text{(a)}}}{2^2}$$

$$(4) \sum_{k=0}^n {}nC_k k^3 = \boxed{\text{(d)}} \times \frac{\boxed{\text{(a)}}}{2^3}$$

2 次の各問いに答えよ。ただし、答えは結果のみを解答欄に記入せよ。

(1) (1-1) 関数 $f(x) = \sqrt{x}$ ($1 \leq x \leq 2025$) に対して

$$\frac{f(2025) - f(1)}{2025 - 1} = f'(c), \quad 1 < c < 2025$$

を満たす実数 c の値を求めよ。ここで、 $f'(c)$ は $x = c$ における微分係数を表す。

(1-2) 1 次の近似式を用いて $\sqrt{2025 + 1}$ の近似値を小数第 4 位まで求めよ。

(2) x, y が関係式

$$\frac{x^2}{2} - \frac{y^2}{4} = 1, \quad y \neq 0$$

を満たすとき、次の を x, y を用いて答えよ。

$$\frac{dy}{dx} = \frac{\text{(2-1)}}{\text{(2-2)}}, \quad \frac{d^2y}{dx^2} = \frac{-8}{\text{(2-3)}}$$

(3) 次の関係式を満たす関数 $f(x)$ を求めよ。ただし、 $f'(t)$ は $f(t)$ の導関数を表す。

$$f(x) = 1 + x^x + \int_1^{e^2} t^{-t} f'(t) dt, \quad x > 0$$

(4) 平面上に点 O, A, B をとり $|\vec{OA}| = |\vec{OB}| = \sqrt{5}$, $\vec{OA} \cdot \vec{OB} = 4$ とする。3 点 O, A, B と同一平面上に次の 2 つの条件：

$$\vec{OA} \cdot \vec{OC} = 2 + \frac{1}{\sqrt{2}}, \quad \vec{OB} \cdot \vec{OC} = 1 + \sqrt{2}$$

を満たす点 C をとる。このとき、次の を適切な数値で埋めよ。

$$|\vec{OC}|^2 = \frac{\text{(4-1)}}{\text{(4-2)}}, \quad \cos \angle ABC = \frac{\text{(4-3)}}{\text{(4-4)}}$$

数 学 (その2)

3 $a > 0$ とする。xyz 空間において、平面 $z = 0$ 上で、曲線 $x^2 + \frac{y^2}{3} = a^2$ を C_1 、曲線 $\frac{x^2}{3} + y^2 = a^2$ を C_2 とする。また、曲線 C_1 と C_2 の両方で囲まれる図形を A とし、その面積を S とする。次の各問いに答えよ。ただし、答えは結果のみを解答欄に記入せよ。

- (1) C_1 と C_2 の交点の座標をすべて求めよ。ただし、解答欄には各座標を $(x, y, 0)$ の形式で記入せよ。
- (2) 図形 A の面積 S を求めよ。
- (3) 原点を O とする。 z 軸上の点 $P(0, 0, a)$ 、および、図形 A の境界線上の点 Q を考える。点 Q が図形 A の境界線上を 1 周するときに三角形 POQ が通過してできる立体の体積 V を求めよ。

4 X 君と Y 君があるゲームを行う。4 つの箱が用意され、そのうちの 1 つの箱にだけ賞品が入っている。X 君はどの箱に賞品が入っているか知らない。まず X 君が 4 つの箱から 1 つの箱を選ぶ。その中に賞品が入っていれば X 君はその賞品を獲得できる。次の各問いに答えよ。ただし、答えは結果のみを解答欄に記入せよ。

- (1) X 君が選んだ箱をただちに開けたとき、X 君が賞品を獲得できる確率を求めよ。
- (2) X 君が選んだ箱を開ける前に、Y 君は X 君が選んだ箱以外の 3 つの箱から、無作為に 1 つの箱を選び、ただちに開けて X 君に見せたが、賞品は入っていなかった。X 君は最初に選んだ箱をそのまま選択してもよいが、Y 君が開けずに残した 2 つの箱のうちの 1 つの箱に選択をかえてもよいことにする。
- (2-1) 選択をかえないときに X 君が賞品を獲得できる確率を求めよ。
- (2-2) 選択をかえたときに X 君が賞品を獲得できる確率を求めよ。
- (3) Y 君はどの箱に賞品が入っているか知っている。X 君が選んだ箱を開ける前に、Y 君は X 君が選んだ箱以外の 3 つの箱から、賞品が入っていない 2 つの箱を開けて X 君に見せた。X 君は最初に選んだ箱をそのまま選択してもよいが、Y 君が開けずに残した箱に選択をかえてもよいことにする。
- (3-1) 選択をかえないときに X 君が賞品を獲得できる確率を求めよ。
- (3-2) 選択をかえたときに X 君が賞品を獲得できる確率を求めよ。

国語(その1)

— 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

ヨーロッパの近代科学が、分析による還元主義(reductionism)を尖鋭化して行った過程は、それなりに歴史がある。それと同じ論理構造を求めて歴史を遡れば、おそらくギリシアのデモクリトス〔注1〕、エピキュロス〔注2〕によって代表される「原子論」(atomism)にたどりつく。近代の市民社会の生成とともに、「個人」という概念が確立され、社会も「個人」の集合として把握されるに至って、すべての思想の前線に「個体主義」(individualism)が拡散するに従って、時あたかもP・ガッサンディ〔注3〕らの手で紹介されたエピキュロスの「原子論」的発想は、いわば、そうした歴史の流れと完全に並行して形成されつつあった近代科学の基本前提として機能することになった。したがって、自然現象を分析し、より原理的な要素の振舞いとして記述しようとするときに、①、という点に並行して、科学はしだいに分化、専門化への道をたどることになったのである。

けれども、なるほど、そうした歴史的な一種の「ア」があるからとはいえ、いやむしろ、そのような歴史的な過程にシバ^aられていたのだからなおのこと、「科学的である」ということをドグマティックに「分析的である」と定義しておいてよいのだろうか。それから外れるものをすべて「非科学的」として斥ける^{しりぞ}ことが正しいのであろうか。

自然科学といえども、歴史の「イ」である。社会の、時代の、思考のジュンキョ^b枠に従って、変化し、変動する人類の知的営みの一部であることは、他の領域と本質的に変らない。われわれは、その意味で、また ② である。だから、「科学的」≡「分析的」というドグマから逃れられないとも言える。しかし、また、② は、未来の歴史の母でもある。とすれば、われわれは、「科学的」に対して、「分析的」以外の定義を与えることもできるのではないであろうか。そしてそうしたまったく新しい論理構造のなかに科学を位置づけたとき、専門化や分化に伴う弊害も、まったく新しい視点から見直すことができるのではないか。

そうした問題意識を整理するには、医学はまことに好便である。医学に対してはキョクガイ^cシヤの私の眼にも、昨今の医学の分化、専門化の激しさはある程度理解できる。そして、専門家のその分野でのジユクタクツ^dした知識と技術が、チームとして結集されたときのすぐれた効果も、また、それが食い違ったときの大きな危険も、理解できる。しかし、私がここで扱おうとしている問題は、もう少し「ウ」な性質のものである。

医学は「科学的」であるか。またあり得るか。

この問は、決して見かけほどナンセンスではない。とくに「科学的」^eという言葉の定義をすでに見たような形で与えておくことを前提とする限りでは。

なるほど、科学の発達とともに、人体に関する科学的知見は、驚くほど増大した。たとえば、皮膚の感覚受容器に対する機械的刺激がどのようにして神経のネットワークを経て中枢や反射弧に伝えられるか。刺激の伝達というマクロな現象は、カルシウム・イオンのポンピングとか、それによる電位差など、よりミクロな概念によって把握される物質の振舞いから記述される。そうした知見が、実際の医療にどのように利用されるか、ということは、一応ヌキにして、

③ 「科学」の論理は、医学においても、つねに、徹底的に行われる。病原体と病気との関係も、そうした論理の適用の結果でもあるし、免疫などの抗原・抗体反応を高分子レヴェルで解明することも、まさしくその結果の一つである。かくして医学は、立派に科学的ではないか。しかしながら、それで全部というわけにはいかない。もともと、病気はギリシア語ではパテーマ(patheina)と呼ばれた。病理学(pathology)の語源である。パテーマとは「苦しみ」とか「苦しみを受けること」とかいった意味に関わる語である。ちなみに、キリストの受難やそれを扱った楽曲、劇などがパシオン(passion)と呼ばれるのも、ペーソスやパセイクといった語が「悲哀」の含意をもつのも、語源が同じだからである。④。

しかし、それでは苦しみとは一体何だろう。苦しみは、傍らの人がそれと指せるような、つまり「客観的」なものではない。百日咳の咳込みは、見ていてもいかにも苦しそうだ。自動車事故による骨折や挫傷はいかにも痛そうだ。しかし「苦しい」と「苦しそうだ」とは違う。「痛い」と「痛そうだ」とは違う。「苦しみ」や「痛み」は⑤。だれも、咳込んでいる百日咳の小児の苦しみを苦しむことはできない。ベッドの上で呻吟する事故負傷者の痛みを痛むことは、たとえば患者の最愛の妻や母親であつても他人にはできない。「他人の苦しみを自分の苦しみとする」という言葉は、表現としては判るが、〔エ〕に不可能である。「他人の苦しみを自分の苦しみ」として本当に感じる人があるとすれば、もはやその人の感じている「苦しみ」は、決して「他人の」ものではなく、まさしく「自分の苦しみ」にほかならない。

「苦しみ」「痛み」は、主観的なものである。どれほど「苦しみを共にすること、つまり〈sympathy〉(同情)があつたとしてもそれは変らない。とすればそもそも、「苦しみ」や「痛み」は「科学」の対象にはなり得ないのではないか。

そんなことはない。痛みの作用キジヨはかなり判っているではないか。だが、ちょっと待っていただきたい。受容器としての神経細胞の膜の透過性が、刺激によって突然変化を起す、するとイオンの平衡状態が崩れて、膜の内外に電位差が生ずる、……痛みは、そうした形で「科学的」に記述され説明される。だが、それが「痛み」なのだろうか。明らかにそうではない。「痛み」は主観の側の感覚の現象である。しかし前述のごとき「痛みの説明」は客観的物質現象である。われわれは、たとえ前述のごとき客観的現象が起っていないくても、主観の現象としては「痛んで」いる、という可能性を永久に排除できない。⑥ だからである。

それゆえ、医学は、「科学的」であり得る部分もあるが、しかもなお、永遠に、従来の〔オ〕規定の枠内での「科学的」ではあり得ないところが残ることは明らかである。神経、筋肉、器官、細胞、ミトコンドリア、DNAなど、それぞれの分析段階に応じて、相対的にミクロな知見が積

み重ねられ、それぞれの領域における専門的な理論体系ができて行く。その理論体系は、そのレヴェルよりも少なくとも一段階高次のレヴェルでの概念や法則を詳細、かつできる限り完全に記述・説明できるものである。だから、医学は科学的でないとはもちろん言えない。それにもかかわらず、医学は、その出発点において、患者の苦しみを取り除くという大前提を忘れるわけにはいかない。それを忘れたとき、医学は医学としての存立基盤を失うからである。そして、「苦しみ」は、科学的分析からは決して検出されない。「苦しみ」は、人間という一個の全体的な存在の主観的側面としてある。もし「先後関係」という概念を使うとすれば、つねに ⑦ は後である。

「苦しみ」は、主体という人間の形成する全体的な「場」の一つ一つにおいて、はじめて登場する。足を一本とり出して、針で突ついて「痛いですか」ときくことはできない。しかし、切り取ってしまってもうないはずの右足のつま先が「痛みますか」と人にきくことは、場合によっては十分意味がある。痛みや苦しみは、時間―空間のキャンバスのなかに分析された物質要素の振舞いを詳細に描き上げることで済むものではない。

そして、このことは、あたかも医学においてのみ本質であるかのように見えるかも知れないが、しかし、実は、科学全般の、あの「分析の論理」について多かれ少かれあてはまる。現象のレヴェルを降りれば、降りただけ何かが失われる。医学の場合、どうしても「苦しみ」を感じる「場」としての一個の全体的人間という現象のレヴェルから、下降することができない、という実際上の足かせをはめられている特殊事情がある。それゆえにこそ、医学者は自らの分科「Each」[注4]に専門としての分析的な眼と頭とをもつと同時に、全体的な人間という統合的な視点を不可欠なものとして要求される。医学界の現状が、この要求をどこまで満たしているかはまた別の問題である。だが、科学一般もまた、同じ掣肘せいぢゅうの中に本来あるはずなのだ。

科学の発展の原動力は、未知のものへの好奇心であったり、実際的な要求であったり、名誉欲であったり、種々様々だろう。だが、その最終的な目標が、ちょうど医学のそれが「⑧」のために「あるように、「人類のために」というところがないのなら、人類の知的営みとしては、自己破産せざるを得ない。そして、科学は、まさにそこに統合化の視点をもっているはずなのである。

具体的なプログラムとしては、「分析と総合」という「科学的」な思考法的前提を疑ってみる作業が必要であろう。それは「分析的である」ことを否定するのではなく、それ以外の自然現象への迫り方を「非科学的」として頭から峻拒しゅんきょしてしまわない、という意味である。全体的な現象把握、現象を現象としてそのままとらえる、という方法を、どこかで探さなければならない。というより、その発想を、すべての「分析」の出発点にしなければならない。「分析」は科学の一つの手段ではあっても目的ではないからである。目的を回復するための新しい発想が切に望まれているゆえんでもある。

このように考えてみると、昨今もてはやされる「学際的」研究も、それが単に、ある専門領域と

別の専門領域との学者が共同研究をするとか、ある分析レヴェルと、それに隣接する分析レヴェルとの間に、新しい分析レヴェルを設ける、といったような考え方からは、重要な発展を期待することはできない。要は、「人類のために」という科学の目的を、全体的現象の把握のなかに活かすための方法論を知ることなのであって、それこそが学際的研究の特質となるべきであろう。

分析を方法とする限り、科学内部での専門化は不可避であり、それは否定されるべきことではない。問題の核心は、平凡な結論のようだが、⑨ し、科学に対して、より柔軟な論理構造の枠組みを許すことにある。そうした柔構造が、結果的に、「人類のために」という科学の目標を、科学の外部ではなく、科学の内部に、改めて設定させることになるだろう。そのときわれわれは、専門分化の弊をのり越えたと言えるのではないか。

村上陽一郎『近代科学を超えて』より（二部省略・一部改変）

〔注1〕 デモクリトス…（紀元前四六〇頃～紀元前三七〇頃）古代ギリシアの哲学者。

〔注2〕 エピキュロス…またはエピクロス（紀元前三四一頃～紀元前二七〇頃）古代ギリシアの哲学者。

〔注3〕 P・ガッサンデイ…（二五九～一六五五）フランスの哲学者。

〔注4〕 Each（ファッハ）…ドイツ語で、「専門分野」や「学科」を意味する。

◆以下、原則として、記述問題はカギカッコや句読点等の記号も一字分として数えること。また、冒頭の一字下げは不要。

設問1 傍線部A「そうした歴史の流れ」とあるが、どのようなことか、四〇字以上五〇字以内の文で答えなさい。

設問2 空欄 ① に入る最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア その歴史をどのように記述するか
- イ その分析のメスをどこで止めるか
- ウ その記述の開始をいつからとみるか
- エ その要素をどこまで歴史的に振り返るか
- オ その基本前提が機能するかしないか

設問3 文中に二箇所ある空欄 ② に入る最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自然の子
- イ 要素の子
- ウ 現代の子
- エ 歴史の子
- オ 過去の子

設問4 傍線部イ「科学的」という言葉の定義をすでに見たような形で与えておくこと」とあるが、具体的にどのようなことか、一五字以上二〇字以内の文で答えなさい。

設問 5 空欄 ③ に入る最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人体に関する科学的知見を、物質の振舞いから記述しようとする
- イ ミクロな概念を、物質の振舞いとして丁寧に記述することをめざす
- ウ 具体的な用途や実用的な価値より、まずは科学的な真理を探究しようとする
- エ マクロな現象を、分析によってミクロな世界へ還元しようとする
- オ 感覚受容器に対する機械的刺激を、物質の振舞いとして記述しようとする

設問 6 空欄 ④ に入る最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 科学と苦しみは語源からして無縁ではない
- イ 病気とは、まさしく苦しみである
- ウ 医学は宗教とも関わりがあることがわかる
- エ 一方であれ、語義を語源から理解するとその本質が見えてくる
- オ 苦しみや悲しみは、宗教的芸術の重要なテーマである

設問 7 空欄 ⑤ に入る最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「客観的」であることを超えていない
- イ 「客観的」にはなり得ない
- ウ 「客観的」でしかあり得ない
- エ 「客観的」なのかもしれない
- オ 「客観的」かはわからない

設問 8 傍線部ウ「呻吟する」とあるが、その意味として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 苦しみを受け止めて、言葉や詩歌として表すこと。
- イ 苦しみを逃れようとして、神の言葉にすがること。
- ウ 苦しみにさいなまれ、眠りに落ちたり目覚めたりを繰り返すこと。
- エ 苦しみを他人に見せまいと、ひたすらがまんすること。
- オ 苦しみのあまり、うめいたりうなったりすること。

設問 9 空欄 ⑥ に入る最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 客観的にしか、その人の「痛み」の原因は知り得ないもの
- イ 「科学的」に記述され説明される以外に「痛み」は表現され得ないもの
- ウ 客観的物質現象と主観の現象は根底ではつながっているもの
- エ 「科学的」に言えば、「痛み」のメカニズムは明白なもの
- オ 客観的には、その人の「痛み」は絶対に知り得ないもの

設問 10 空欄 ⑦ に入る最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 医学としての存立基盤が先にあり、人間という一個の全体的な存在
- イ 科学的分析が先にあり、その「苦しみ」
- ウ 「苦しみ」が先にあり、その科学的分析
- エ 一個の全体的な存在が先にあり、その「苦しみ」
- オ 人間が先にあり、一個の全体的な存在

設問 11 傍線部「科学一般もまた、同じ掣肘の中に本来あるはずなのだ」の「掣肘」とは「干渉して自由な行動をさせないこと」を意味するが、傍線部「エ」で筆者がいわんとするのはどのようなことか、文脈を踏まえて七〇字以上八〇字以内の文で答えなさい。

設問 12 空欄 ⑧ に入る二文字の語句を本文中から探して書きなさい。

設問 13 空欄 ⑨ に入る最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 科学的であることと分析的であることを等置と考えるドグマから脱却
- イ どこまでも真摯に分析を進め、非科学的であることを常に拒否
- ウ 専門的であることを軽視して学際的であろうとする立場から復讐
- エ 分析的であることと学際的であることが両立不可能という偏見を否定
- オ 学際的であることに満足せず専門的であろうとすることを重視

設問 14 文中の「ア」から「オ」に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを次の五つの語群の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 | 〔ア〕 | 必要性 | 〔イ〕 | 産物 | 〔ウ〕 | 哲学的 | 〔エ〕 | 理論的 | 〔オ〕 | 科学的 |
| 2 | 〔ア〕 | 法則性 | 〔イ〕 | 結果 | 〔ウ〕 | 学術的 | 〔エ〕 | 現実的 | 〔オ〕 | 分析的 |
| 3 | 〔ア〕 | 回帰性 | 〔イ〕 | 一部 | 〔ウ〕 | 根本的 | 〔エ〕 | 経験的 | 〔オ〕 | 客観的 |
| 4 | 〔ア〕 | 必然性 | 〔イ〕 | 所産 | 〔ウ〕 | 原理的 | 〔エ〕 | 論理的 | 〔オ〕 | 歴史的 |
| 5 | 〔ア〕 | 拘束性 | 〔イ〕 | 遺物 | 〔ウ〕 | 論争的 | 〔エ〕 | 実際の | 〔オ〕 | 医学的 |

設問 15 波線部 a ～ e のカタカナを文意に即して漢字で明確に書きなさい。

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|-------|---|---------|---|-------|---|-----|
| a | シバ | b | ジュンキヨ | c | キョクガイシャ | d | ジユクタツ | e | キジヨ |
|---|----|---|-------|---|---------|---|-------|---|-----|

国語(その2)

二

次の文章を読んで後の設問に答えなさい。

福沢諭吉は、蘭学の先人の業績にきわめて高い関心を示し、その学問のA(ゴウミヤク)を絶やすことなく自覚的に継承しようという強い意志を持っていた。それを示すもう一つの事例として、杉田玄白の回想録『蘭学事始』をめぐるエピソードを紹介したい。

福沢が後年語るところによると、『蘭学事始』は当初、「蘭東事始」などの書名で、写本としてB(ルフ)していた。しかし安政二(一八五五)年の江戸大地震により、杉田家はC(ジンダイ)な被害を受け、その原本も写本もすべて焼失してしまったと考えられた。ところが徳川末期、福沢の友人である蘭学者・神田孝平が偶然、江戸・湯島聖堂裏の露店で、一冊の古書を発見する。それはなんと、この世から喪失したと思われた、杉田玄白による幻の回想録であった。神田は大喜びでそれを福沢たち学友に伝え、彼らは先を争って写本した。

福沢は当時、親友の箕作秋坪と対座して、この写本をくりかえし読んだ。福沢と箕作はいつも、蘭学の先人たちの苦心や剛勇、誠意に心を打たれ、二人して涙を流し、^①「感涙に噎びて無言に終わる」のが常であつたという。時は明治維新の動乱期。戊辰戦争の戦火により、杉田の回想録が再び失われる事態を恐れた福沢は、自ら私財をなげうってそれを版木として保存し、明治二(一八六九)年、『蘭学事始』の出版を実現させた。

ここにも自ら蘭学の継承者となり、その伝統と功績を後世に残そうと試みる福沢諭吉の姿がうかがえる。福沢と小幡は、前野良沢や杉田玄白の学問的D(エイイ)を、「自我作古の業」と讃えた。「自我作古」は、「我より古を作す」と書き下す。(2)ことを意味する。「自我作古」という語は、杉田玄白の『蘭学事始』に見られる。福沢と小幡が「慶應義塾之記」を著す際に、杉田の『蘭学事始』から「自我作古」の語を引いた可能性が高い。

では、福沢諭吉たちが学び、引き継ごうとした蘭学の営みとは、いかなるものであつたのか。「自我作古」という言葉を手がかりに、それを探ってみたい。「自我作古」という漢語自体は、『宋史』や『旧唐書』など古くから中国の書籍で使われている。杉田より以前の一八世紀前半、古方派医学の流れに属した学者・香川修庵^{かがわしゅうあん}なども、「自我作古」を提唱している。決して、杉田玄白ら蘭学者だけが用いた言葉ではない。

さらに重要なのは、「自我作古」は必ずしも常に肯定的な意味を持ったわけではないということである。時に否定的に用いられ、厳しく批判される場合もあつた。というのも、儒学の經典である『論語』には、「子曰く、述べて作らず、信じて古を好む」という一節がある。そこでは、(3)が重んじられた。こうした立場から見ると、(4)という「自我作古」の態度は、非常にE(ゴウマン)でF(フソン)であるとみなされた。実際、徳川前期に活躍し、古義学を唱えた

儒者・伊藤仁斎は『論語古義』のなかで、孔子が説いた「述べて作らず」「信じて古を好む」とは、「自我作古」を批判する言葉であると解説する。仁斎はいう。孔子が聖人であるのは、(⑤)とする態度を戒め、(⑥)ことを好んだからである、と。

むろん杉田もまた、「自我作古」が『論語』の一節と鋭い緊張関係にあることを強く認識していた。『蘭学事始』のなかで杉田は、「自我作古」について次のように語る。オランダ語の医学書を「翻訳」する際、臓器の名称や表現をめぐって、最初は「漢人称するところの旧名」を用いて訳そうとした。しかしその違いは大きく、うまく訳すことができない。そこで熟考を重ねた結果、「自我作古」しかない、すなわち多くの読者に理解してもらえる文章を実現するためには「我より古を作す」しかない⁹と決意し、訳述を「工夫」するに至ったという。ここには、従来の東アジアの用語では捉えられない、新たな事物や概念の翻訳に初めて取り組む、蘭学者としての覚悟と信念が示されている。

江戸時代の文脈において「自我作古」とは、(⑦)、といった軽薄な意味ではない。「自我作古」とは、歴史的に先人たちが積み重ねてきた学問や教えを重んじ、深い敬意を払ったその先に、それでもなお従来の概念や枠組みでは捉えられない事象に直面した際、(⑧)学術的態度であった。

そして何より注意すべきは、杉田において「自我作古の業」が、「翻訳」の作業と深く結びついていたことである。蘭学では、文字も文法も異なり、時には概念や思想さえ異質な、異文化の言語である西洋のオランダ語を、いかに自らの文化圏の言語に置き直して理解するかが最大の課題だったのである。

もちろん、蘭学者たちは広く西洋学術に触れるなかで、旧来の儒学的な世界認識を根底から改めた。例えば杉田玄白は、「中華」を世界の中心と考える旧来の世界観を問題視し、人間がのつとるべき「道」とは決して中国の聖人が作ったものではなく、天地自然のものであると批判した。そのうえで、杉田は喝破した。地球は「一大球」であり、「万国」はそのうえにひとしく「配居」している。誰もが自分の国を世界の中心であると誤解しているが、地球全体でみれば、中国もまた「東海一隅の小国」に過ぎない、と。

しかし同時に蘭学者たちは、自らが生きる東アジアの思想的伝統を批判的に相対化しつつも、翻訳によって西洋学術の内容を説明するためには、東アジアの語彙や概念を用いる必要があった。それゆえ蘭学者は漢語にも深く精通し、そこに㊦(フクザイ)する㊨(フヘンテキ)な含意を内在的に拡張させ、最大限に活用した。東アジアの学問的伝統を基礎に、西洋文物と不断の対話を試み、翻訳を通じて、古くから存在する漢語に新たな意味を吹き込んだのである。

大槻玄沢は蘭学を「訳学」と捉え、「訳は蘭学者の真訣なり」と説いている。蘭学者たちはその出発点から、西洋世界という自らと異質な文化圏のなかで形成された概念や思想を、自らの思想的伝統の内側から捉え直し、社会に定着させる「翻訳」に自覚的であった。⁹「自我作古の業」とは、初めて触れる西洋の概念と東アジアの文化的伝統との間の緊張関係のなかで営まれる「翻訳」の作業と不可分な関係にある。

福沢と小幡は、こうして洋の東西の①(カキヨウ)を試みる蘭学の②(エイイ)に光を当て、杉田玄白ら蘭学草創期の学者たちの学問活動を、「自我作古の業」として③(シヨウヨウ)することによって、慶應義塾がその精神を継承するものであることを、高らかに宣言したのである。

これからみていくように、福沢の思想を支える柱となる「文明」や「窮理」、「演説」、「自由」や「通義」といった概念もまた、翻訳を通じた思想的格闘の産物である。

(大久保健晴著「今を生きる思想 福沢諭吉 最後の蘭学者」(二部省略・一部改変)

設問 1 傍線部①において、「感涙に噎^{むせ}びて無言に終わる」と述べられているが、これはどのようなことを意味しているのか。二行以内で述べなさい。

設問 2 括弧②と括弧④には、いずれも自我作古の意味が書かれているが、その意味を二行以内で述べなさい。

設問 3 括弧③には、「子曰く、述べて作らず、信じて古を好む」という論語の言葉の意味を要約したものが書かれているが、その意味するところを一行以内で述べなさい。

設問 4 括弧⑤に入る言葉に最も相応しいものを一次の中から選びなさい。

ア 自分の心を偽って生きよう

イ 自分の軽率な功名心から我が意によって先例を作ろう

ウ 自分の栄達を願って上位に迎合しよう

エ 足らないことに不満をもって他に意見しよう

オ 他人の手柄を横取りして榮譽を得よう

設問 5 括弧⑥に入る言葉に最も相応しいものを一次の中から選びなさい。

ア 事をなすうえで必ず周囲に配慮する

イ 事をなすうえで必ず古を新規に改作する

ウ 事をなすうえで必ず真理を熟慮する

エ 事をなすうえで必ず古を超越する

オ 事をなすうえで必ず古を手本とする

設問 6 括弧⑦に入る言葉に最も相応しいものを一次の中から選びなさい。

ア 何でも新しいことにチャレンジしなさい

イ 何事にも失敗をおそれてはいけない

ウ 周囲の目にとらわれずに生きなさい

エ 物事には熱い心をもって臨みなさい

オ 古いものにも良いものがある

設問 7 括弧⑧に入る言葉に最も相応しいものを一つ次の中から選びなさい。

- ア これを回避しながらも正解に到達しようとする
- イ その問題点を熟考し、あくまで真理を追究しようとする
- ウ 決意をもって一歩前に足を踏み出す
- エ 毅然とした態度で正面から打破を試みる
- オ 信念をもって旧来の手法の良さを適用しようとする

設問 8 傍線部⑨はどのような意味か。その意味するところを四行以内で述べなさい。

設問 9 ①から⑪までの括弧の中のカタカナを漢字に直しなさい(大きく楷書で丁寧かつ読み易く書くこと。読みにくい場合には採点されないことがあります)。